

# パッカー車体験でエコ学ぶ

産業廃棄物の中間処理・リサイクル事業を手がけるミズノ（本社四日市市午起2の1の5、水野昌和社長、電話059・331・2049）はこのほど、同市東新町の市立東橋北小学校で「エコ教室」を開催した。

エコ教室は今年で3回目。社員研修や地域貢献の一環として新入社員ら3人が講師となり実施。今回は同校4年生14人が参加した。リサイクルやゴミ問題の現状を解説、クイズやゲームを通して地球環境を守ることの大切さを楽しく学んでもらい、パッカー車の体

## ミズノ

### 小学校へ出張教室

#### クイズ・ゲームも用意

験会も行った。特に、方やさまざまなエコ活家庭から出るゴミの行動の紹介など、より身

は段ボールをあんなに詰めたのにべっちゃんこにしてしまうのです。こいなど思った。「エコ活動の意味もわかったし、クイズも楽しかった」と話していた。



パッカー車に段ボールをいれる子どもたち

近に感じられるものを中心に説明した。エコ意識を高めてもらおうと、最後に修了証を手渡した。

参加した生徒は「リサイクルするとゴミが減って環境にいいことが分かった」「パッカー車（四日市）

講師となった新入社員らは「子どもたちが予想以上に積極的で、たくさん質問してくれた」「今回の教室で計画性や発言力、周りへの配慮などビジネスマシーンとして成長できた。今後の仕事にも生かしたい」と振り返った。同社では「今後もエコ教室を継続する方針で、実施校の数も拡大させていきたい」としている。